

○ 6月1日(木) 晴れ

北海道上陸：塩谷丸山に登り、日高の道の駅「三石」へ

・3時過ぎに起きて部屋の外へ出てみたら、もう小樽の近くまで来ていて、陸の灯が見える。
海は穏やかで天気も良さそうだ。

定刻通り4時半に小樽港に接岸して下船が始まった。



小樽に着いた。下船準備



小樽港 乗ってきたフェリー



小樽港 天狗山が懐かしい



フェリーターミナルで旅の準備

もうすっかり夜が明けて久しぶりで眺める小樽の街が懐かしい。

ターミナルの駐車場に止めて、これから始まる北海道の旅の準備を整えた。

今日はまずこれから隣町の塩谷にある丸山に登って足慣らしのトレーニングだ。支度を整えて塩谷に向かった。登山口駐車場に5時半に到着した。この山は10年前の2013年に一度来ているが、今回は登山口近くに高速道路が通ったため、登山口の様子が記憶とはかなり変わっていて、少々まごついた。また前回は9月の秋だったため、出会う花も全く異なり、新しい感覚で登ることが出来た。



塩谷丸山・駐車場



塩谷丸山・登山口

高速道路の脇を少し行くと登山口、ここで入山届に記入して登りだした。5時半と朝早いいためか、今日の記入は私が最初だ。(ただ駐車場に車は数台あり、先に登って行った人も見たので、記入せずに入山している人がいるらしい。)

初めは草付きの林の中の緩い上りの登山道。道の両側にはクルマムグラやマイヅルソウが群生して咲いている。本にはキクザキイチゲやエンゴサクがいっぱいだと書いてあるが、もう花の季節が終わっているので、残念ながら見られない。初めて見るショウマの花に出会い、写真に収めて帰ってから調べたらルイヨウショウマだった。



クルマムグラ



ルイヨウショウマ

だんだん急坂になる林の中の道をしばらく登り、林を抜けるとハクサンチドリやオオヤマフスマが咲く草原の中の一本道になる。

詰めは岩場の急坂で、タチツボスミレのお花畑を通り山頂に立った。そこは 素晴らしい眺めが広がった。山頂には誰もいない。この景色を独り占めだ。

石狩湾の向こうに遠く積丹半島が望まれ、雪を被った積丹岳がみえる。以前 2 回も登った懐かしい山だ。



塩谷丸山山頂



雪を被った積丹岳



案内表示板

展望台から南西方面を眺めると、案内表示板にあるように、後志羊蹄山の頭がみえ、ニセコ連山やその奥に狩場山が眺められた。前回登った時は霞んでいたのかこんなに眺望を楽しんだ記憶はない。

約 30 分山頂にいたが、誰も登ってくる人は無く、山頂からの展望を一人で心行くまで楽しんだ。

同じ道を下り 9 時前に登山口駐車場に着いた。下り道では登ってくる沢山の登山者とすれ違った。たぶん山頂は人でいっぱいになるだろう。朝早く登ってよかった。



後志羊蹄山

明日も天気良そうだが、明後日からは天気が悪くなり、雨の日が続くとの予報が出ている。明日アポイ岳に登ってしまわなければならない。そのためには今日中に日高の「道の駅・三石」に行く必要がある。ちょっと距離があるな。

さっそく三石に向けて塩谷丸山を後にした。小樽を抜けて札幌に入り千歳へと走る。小樽・札幌のこの道は何回走ったことだろうか(何 10 回)? さすが札幌は大都市。広いし、信号は多いし、車がいっぱい渋滞は多いしで、街を抜けるのに 1 時間半以上もかかった。やっとのことで通り抜け、懐かしい恵庭へ到着し「道の駅・恵庭」で一休み。ちょうど昼だったので、ウィンナカレーを食べた。

13 時過ぎ 三石へ向け出発。この道も何回も走っている。千歳空港前を通りウトナイ湖の横を通り苫小牧方面へ南下し、途中から日高方面へ別れる。高速道路が厚賀まで通っていて、現在は嬉しいことに無料で通れる。高速道路と云っても、片道一車線の対面交通だが、車は殆ど走っていないし、80kmのマイペースでのんびり走れる。厚賀で一般道路に下りてから国道 235 号線(浦賀海道)をひたすら南下する。天気は良いし、太平洋を右手に見ながら海岸線を走る気持ちの良い道路だ。

15 時半無事「道の駅・三石・蔵三」に到着した。

さっそく蔵三の温泉に飛び込み、今日の塩谷丸山の登山疲れと、小樽から札幌を通してここ三石まで走ってきた運転疲れを癒した。ここの露天風呂は舟形の浴槽で実に良い、大好きだ。

ゆっくり入った風呂から上がってまだ5時前で少し早いですが、蔵三のレストランで夕食。生ビールが旨い!

車に戻って寝る支度。まだ夕日が射して明るいし、生ビール 1 杯では飲み足りないの、来るときにコンビニで買ってきた酔の物を肴に缶ビールで飲み直し、7 時過ぎに床に入った。

外は晴天で暖かい。

